

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	診療放射線技師学科(昼間部)	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	医療安全管理学Ⅱ(看護学概論)	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生後期	学期及び曜時限	後期	教室名	801
担 当 教 員	藤原 真喜子	実務経験とその関連資格	実務経験23年、資格:看護師、がん放射線療法看護認定看護師、核医学診療看護師		
《授業科目における学習内容》 患者中心の医療を提供するためには、医療チームを構成する各専門職が協働し、各々の役割を果たすことが重要です。そのためには、チームを構成する他の医療職の役割を理解することが必要になります。本科目では、診療放射線技師協働することの多い、看護師の役割と、看護の視点を学習します。それら授業を通して科目的な根拠や視点を持って患者対応することの重要性を理解し、診療放射線技師の仕事の中での、患者の安全・感染予防を考えた医療行為を行えるよう学習します。					
《成績評価の方法と基準》 筆記試験(70%) 出席点(20%) 平常点(10%)					
《使用教材(教科書)及び参考図書》 ナーシング・グラフィカ 基礎看護学(3):基礎看護技術					
《授業外における学習方法》 予習、復習					
《履修に当たっての留意点》 医療人になるために、医療現場ではどのような事故が発生しているのかを知る必要があります。自身でもできるだけ興味をもって調べてください。					
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	看護の概要・専門性を理解する	教科書	特になし
		各コマにおける授業予定	看護の概要と専門性について		
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	看護の概要・専門性を理解する	教科書	特になし
		各コマにおける授業予定	看護の概要と専門性について		
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	看護の概要・専門性を理解する	教科書	特になし
		各コマにおける授業予定	看護の概要と専門性について		
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	看護の目的と役割機能について理解する	教科書	特になし
		各コマにおける授業予定	看護の目的と役割機能		
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	看護の目的と役割機能について理解する	教科書	特になし
		各コマにおける授業予定	看護の目的と役割機能		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	看護の目的と役割機能について理解する	教科書	特になし
		各コマにおける授業予定	看護の目的と役割機能		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	対象の発達段階とその対応について理解する	教科書	特になし
		各コマにおける授業予定	人間の発達家庭や役割とその対応		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	対象の発達段階とその対応について理解する	教科書	特になし
		各コマにおける授業予定	人間の発達家庭や役割とその対応		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	対象の発達段階とその対応について理解する	教科書	特になし
		各コマにおける授業予定	人間の発達家庭や役割とその対応		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	患者の安全・安楽・感染予防について理解する	教科書	特になし
		各コマにおける授業予定	感染予防・安全対策・患者の安楽を考えた対応について		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	患者の安全・安楽・感染予防について理解する	教科書	特になし
		各コマにおける授業予定	感染予防・安全対策・患者の安楽を考えた対応について		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	患者の安全・安楽・感染予防について理解する	教科書	特になし
		各コマにおける授業予定	感染予防・安全対策・患者の安楽を考えた対応について		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	医療チームを意識した行動について説明できる	教科書	特になし
		各コマにおける授業予定	チーム医療における看護師と診療放射線技師との協同について		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	医療チームを意識した行動について説明できる	教科書	特になし
		各コマにおける授業予定	チーム医療における看護師と診療放射線技師との協同について		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	医療チームを意識した行動について説明できる	教科書	特になし
		各コマにおける授業予定	チーム医療における看護師と診療放射線技師との協同について		